

© International Baccalaureate Organization 2022

All rights reserved. No part of this product may be reproduced in any form or by any electronic or mechanical means, including information storage and retrieval systems, without the prior written permission from the IB. Additionally, the license tied with this product prohibits use of any selected files or extracts from this product. Use by third parties, including but not limited to publishers, private teachers, tutoring or study services, preparatory schools, vendors operating curriculum mapping services or teacher resource digital platforms and app developers, whether fee-covered or not, is prohibited and is a criminal offense.

More information on how to request written permission in the form of a license can be obtained from https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/.

© Organisation du Baccalauréat International 2022

Tous droits réservés. Aucune partie de ce produit ne peut être reproduite sous quelque forme ni par quelque moyen que ce soit, électronique ou mécanique, y compris des systèmes de stockage et de récupération d'informations, sans l'autorisation écrite préalable de l'IB. De plus, la licence associée à ce produit interdit toute utilisation de tout fichier ou extrait sélectionné dans ce produit. L'utilisation par des tiers, y compris, sans toutefois s'y limiter, des éditeurs, des professeurs particuliers, des services de tutorat ou d'aide aux études, des établissements de préparation à l'enseignement supérieur, des fournisseurs de services de planification des programmes d'études, des gestionnaires de plateformes pédagogiques en ligne, et des développeurs d'applications, moyennant paiement ou non, est interdite et constitue une infraction pénale.

Pour plus d'informations sur la procédure à suivre pour obtenir une autorisation écrite sous la forme d'une licence, rendez-vous à l'adresse https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/.

© Organización del Bachillerato Internacional, 2022

Todos los derechos reservados. No se podrá reproducir ninguna parte de este producto de ninguna forma ni por ningún medio electrónico o mecánico, incluidos los sistemas de almacenamiento y recuperación de información, sin la previa autorización por escrito del IB. Además, la licencia vinculada a este producto prohíbe el uso de todo archivo o fragmento seleccionado de este producto. El uso por parte de terceros —lo que incluye, a título enunciativo, editoriales, profesores particulares, servicios de apoyo académico o ayuda para el estudio, colegios preparatorios, desarrolladores de aplicaciones y entidades que presten servicios de planificación curricular u ofrezcan recursos para docentes mediante plataformas digitales—, ya sea incluido en tasas o no, está prohibido y constituye un delito.

En este enlace encontrará más información sobre cómo solicitar una autorización por escrito en forma de licencia: https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/.





Japanese A: literature – Standard level – Paper 1 Japonais A: littérature – Niveau moyen – Épreuve 1 Japonés A: Literatura – Nivel Medio – Prueba 1

Wednesday 4 May 2022 (morning) Mercredi 4 mai 2022 (matin) Miércoles 4 de mayo de 2022 (mañana)

1 h 15 m

Instructions to candidates

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Write a guided analysis of text 1 or text 2.
- Use the guiding question or propose an alternative technical or formal aspect of the text to focus your analysis.
- The maximum mark for this examination paper is [20 marks].

Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Rédigez une analyse dirigée du texte 1 ou du texte 2.
- Utilisez la question d'orientation ou proposez une autre manière d'aborder le texte en choisissant un aspect technique ou formel sur lequel concentrer votre analyse.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de [20 points].

Instrucciones para los alumnos

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Escriba un análisis guiado del texto 1 o del texto 2.
- Utilice la pregunta de orientación o proponga otro aspecto técnico o formal del texto en el que centrar su análisis.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es [20 puntos].



次の課題文の1つを選択し、その設問に対する分析を書きなさい。

1. 次のテクストは、高良留美子による「海辺」という詩である。

25

20

砂浜

の白さは波をくぐって

行ってしまった者たちのことをでが打ちよせる波は夜ごと、浜辺にでが打ちよせる波は夜ごと、浜辺にこの砂浜の白さのなかにこの砂浜の白さのなかにかたしはすぎ去った祭りの歌をきくかえらないむかしの歌を。

海は何も語らないすでに戦場にまでつづいていたのに。

それらを呼び戻すことができただろうしかしどうして子供たちに

15

10

5

沈められていたむかしの貝がらと共に波底ふかく

歌を。

わたしはすぎ去った祭り

の歌をきく

る

月

海辺に立っ

って

また、消えていく祭りの歌を。
去っていく兵隊たちの足音を
かれらは汐風のなかにききわけた

踊りつかれて眠りに落ちた。かがり火のまわりで子供らは最後の祭りの夜だった

海辺

- 「子供ら」と「兵士たち」の並立関係が、この詩の中心的テーマとどのように 関わっているか論じなさい。

私

は

自

· 然界

0

神秘ということを深く感じていた。

私としては実に久方ぶりのことであ

次のテクストは、島木健作による小説「赤蛙」からの抜粋である。 2.

1

30 時にもたらされる、 心の状態を得るのが常である。 な人間たちも、 志を感じてそこに信頼を寄せている感じには両者に共通なものがあっ などにも時たまある。 私は昼出た時とは全くちがった気持になって宿へ 天 体₃ 事、 今はもう何も苦にはならなかった。 宇宙のことを考え、そこを標準として考えを立てて見る、 厳粛な敬虔なひきしまった気持、 それは一種の逃避かも知れない。 その時と今とは同じではない。 帰 それでいて何 0 た。 しかし豁然とした救われたような 臭い しかし自 暗 か眼に見えぬ大きな意 1 寒 1 然の神秘を考える ということは 部 屋 Ŕ

を忘れることができたのである。 私 は翌日その 地を去った。たずさえて 来た 冊 \mathcal{O} 書 私はしばらくでも俗悪な社会と人生と 物 ŧ 読 まず、 ただあ \mathcal{O} 赤 蛙 \mathcal{O} 印 象だ

不

切

35

けを記述 色を見るということはめったにない 紅 病気で長く寝つくようになってからも、 斑紋とは妖しいばかりに鮮明だった。 憶の底にとどめながら。 人間 だ。 私 は夢 カゝ 0 波間に なかで赤蛙に逢っ 没する瞬 間 た。 \mathcal{O} 赤 蛙 私 \mathcal{O} は 黄 夢 色 0 な 腹と カン で

無 無三: わ き目も ふらずに つのことに没頭 会する様

2 迂愚 : 物事に疎く愚かなこと

3 天体 宇宙空間 に存 在する物 体 0 総

豁然 心 0 中 0 迷 1 Þ 疑い が消える様子

やがて赤蛙は

後の飛びつきらしい

ものを石の窪みに向って試みた。そうしてくるっ

らく尽すことは出来ぬのである。

心理さえあった。

それらは

もとづいて行動

しているものからでなくてはあの感じは来ない。ましてや、

人間の場合のようにこっちに伝わって来た。

明

確な目的意志に

あの波間に没

15

し去った最後の瞬間に至っては。そこには刀折れ、

馬とか犬とか猫とかいうような人間生活のなかにいるああいった動物ではないのだ。

というこの事実が私を強く打った。

蛙からさえこの感じが来る、

最後に運命に従順なものの姿があった。そういうものだけが持つ静けささえあった。

矢尽きた感じがあった。

力 の

限り

蛙な

10

5

来てい 思えなかった。 然わからない。 で行った姿、 のに思えた。 演じたあげく、 今度はもう二度と浮き上っては来なか に、すーと消えるようなおもむきで、 て小走りに走った。 私はあたりが急に死んだように静かになったのを感じた。事実にわかに薄暗くなっても かえると黄色い腹を上にしたまま 私は歩きながらさっきからのことを考えつづけた。 洲 彼を駆り立てていたあの執念の原動力は一体何であったのだろう。 活動にはいる前にじっとうずくまっていた姿、 の端につかまってほっとしていた姿、 精魂尽きて波間に没し去った赤蛙の運命は、 わかる筈もない。 赤蛙が再び浮くかも知れぬ川面のあたりに眼をこらした。いうなおもむきで、渦巻のなかに呑みこまれて行った。私は しかし私には本能的な生の衝動以 った。 何 の抵抗らしいものも示さずに、 -すべてそこには表情が 滑稽というよりは悲劇的 急流に無二無三に突っ込ん 秋の夕べ、 上のものがあるとしか 私は流れ 不可解な格闘 しかし彼は それは あっ に沿 た。

受けたというその 考えているような、 活的必要ということから卑近な説明をするかも知れない。 も知れない。 物 0 生態を研究している学者は案外簡単な説明を下すかも知れない。 ジ説明の そして力に余る困 事、 通りであってもいい。 私の迂愚を嗤うであろう。 あ 0) 深い 感じそのものは、 [難に挑むことそれ自体が赤蛙 だが蛙の如き小動物からさえああいう深い 私はしかし必ずそうだというのでは 学者のどのような説明を以てしてもおそ その説明は種明 0 目的 意志ででもある しに類するも の現実 · 感じ 0

20

語り手のキャラクタリゼーションは、この抜粋文の中心的テーマをどのように伝え ていますか。

依

Disclaimer/Avertissement/Advertencia:

Content used in IB assessments is taken from authentic, third-party sources. The views expressed within them belong to their individual authors and/or publishers and do not necessarily reflect the views of the IB.

Le contenu utilisé dans les évaluations de l'IB est extrait de sources authentiques issues de tierces parties. Les avis qui y sont exprimés appartiennent à leurs auteurs et/ou éditeurs, et ne reflètent pas nécessairement ceux de l'IB.

Los contenidos usados en las evaluaciones del IB provienen de fuentes externas auténticas. Las opiniones expresadas en ellos pertenecen a sus autores y/o editores, y no reflejan necesariamente las del IB.

References/Références/Referencias:

- 1. 高良留美子, 1971年 初版, 「海辺」『高良留美子詩集』, 思潮社。
- 2. 底本:「現代日本文學大系 70 武田麟太郎・島木健作・織田作之助・檀一雄集」筑摩書房

1970(昭和45)年6月25日初版第1刷,入力:j.utiyama,校正:かとうかおり,1998年8月26日公開,2005年12月23日修正

青空文庫作成ファイル:このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫(http://www.aozora.gr.jp/)で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。